

奥アンツーカと三井武田ケミカル㈱が共同開発した全天候型ポリウレタン系弾性舗装材「トップエースCL」は、陸上競技場舗装材代名詞として全国各地で採用されている。

- ・高品質と良好な物性により、格段の高性能を発揮。
- ・記録重視から健康スポーツまで幅広く対応が可能。
- ・IAAFの公認を日本で初めて取得、世界が認めるグローバルサーフェイスです。
- ・表面仕上は、用途や希望に応じ、ローラーエンボス・エアエンボス・トッピングの三種類をラインアップ。
- ・スポーツフィールドのカラー化に貢献、ブルートラックでの第一種公認も国内で初めて実現。



加古川市総合公園陸上競技場



大阪市長居陸上競技場



加古川市総合公園陸上競技場

トップエースCL仕上工法

ローラーエンボス工法

国立競技場と同一仕様の仕上げ方法で、走りやすさとエネルギーロスの低減を最大限に追求。奥アンツーカと三井武田ケミカル㈱が共同で開発した自信作です。「第80回日本陸上競技選手権兼アトラントオリンピック代表選考競技会」では、新記録や選手一人一人の自己記録が大幅に向上。記録に貢献できる陸上競技場として高い評価を受けました。

エアエンボス工法

ローラーエンボス工法と同等の性能を持ち、しかも短期間で完成させることを目標に開発したのがエアエンボス工法です。ローラーエンボス工法と同じ素材をもって、ウレタンを硬化する直前に吹きつけることによって、連続した凹凸模様をつけました。異物が混入せず、高品質の特性を引き出せる点や、工期短縮などが高い評価を受けています。

トップエースCL施工実績

- ・京都市西京極（総合運動公園）陸上競技場
- ・鹿児島県鴨池陸上競技場
- ・広島県東広島市陸上競技場
- ・岐阜メモリアルセンター長良川陸上競技場
- ・東京消防庁消防学校運動場
- ・富山総合運動公園陸上競技場
- ・その他多数